

千葉県柏市の取組み —ヒアリング調査結果の概要—

都市自治体における地域公共交通のあり方に関する研究会
日本都市センター 新田耕司



公益財団法人

日本都市センター

ヒアリング調査について

○実施日

平成26年10月3日(金)

○調査先

千葉県柏市保健福祉部福祉政策課在宅医療支援担当
(柏地域医療連携センター内)

○調査者

川渕座長(東京医科歯科大学)、鈴木委員(名古屋大学)、
高橋委員(大和市役所)
事務局(日本都市センター)



< 柏地域医療連携センター(外観) >



< 柏地域医療連携センター(内部) >

※ 写真は事務局撮影



公益財団法人

日本都市センター

千葉県柏市の概要①

○人口(世帯数)¹

403,783人(167,857世帯)

○面積²

114.90平方キロメートル

○一般会計³

歳入: 1,143億5,000万円

歳出: 1,143億5,000万円

○都市制度

中核市

(2008(平成20)年4月1日~)



54市町村(37市16町1村)(平成25年1月1日現在)

<千葉県における鶴岡市の位置>

出典:千葉県ホームページ

1 柏市統計書平成25年度版(平成25年10月1日現在)(以下、人口に関する記載は全て同じ)

2 国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成25年10月1日現在)

3 平成26年度柏市当初予算書(以下、予算に関する記載は全て同じ)



公益財団法人

日本都市センター

千葉県柏市の概要②

○合併の経緯(平成以降)

- ・2005(平成17)年3月28日
沼南町を編入合併

○人口構成

- ・年少(14歳以下) : 54,233人(13.4%)
- ・生産年齢(15~64歳) : 259,461人(64.3%)
- ・老年(65歳以上) : 90,089人(22.3%)

○都市の特徴

- ・東京から電車で1時間以内の通勤圏内
- ・高度成長期以降、ベッドタウンとして発展(URの大規模開発等)
- ・2012(平成24)年を除いて、現在も人口は微増傾向
- ・2000(平成12)年、東京大学柏キャンパス開設
(高齢社会総合研究機構設置)



高齢者施策等の状況①

○柏市の組織⁴

- ・総務部
- ・企画部
- ・財政部
- ・地域づくり推進部
- ・市民生活部
- ・保健福祉部
 - 福祉政策課、医療公社管理課、法人指導課、高齢者支援課、障害福祉課、福祉活動支援課、生活支援課 —
- ・保健所
- ・こども部
- ・環境部
- ・経済産業部
- ・都市部
- ・土木部
- ・会計課
- ・水道部
- ・市立柏病院

⁴ 柏市ホームページによる



高齢者施策等の状況②

○財政規模(一般会計分)

- ・民生費 : 464億7,309.4万円(対一般会計全体:40.6%)
- ・社会福祉総務費 : 87億8,213.6万円(対民生費全体:18.9%)
 - ・豊四季台地域高齢社会モデル事業:3,941.2万円
(対社会福祉総務費全体:0.4%)
- ・老人福祉費 : 2億1,340.4万円(対民生費全体:0.5%)
 - ・在宅高齢者援護事業:1億2904.8万円
(対老人福祉費全体:60.5%)
- ・老人福祉施設管理費:2億7,601.6万円(対民生費全体:0.6%)
等

○財政規模(介護保険特別会計分)

- ・約207億7,000万円

○財政規模(国民健康保険特別会計分)

- ・約412億200万円

○財政規模(後期高齢者医療保険特別会計分)

- ・約38億2,100万円



公益財団法人

日本都市センター

高齢者施策等の状況③

○医療施設⁵

・病院 17、一般診療所 250、歯科診療所 208

(市の施設)

・市立柏病院⁶((公財)柏市医療公社) : 病床数 200床

○老人福祉施設⁷

・有料老人ホーム	23か所(定員	1,621人)
・特別養護老人ホーム	15か所(定員	1,023人)
・養護老人ホーム	1か所(定員	90人)
・介護老人保健施設	8か所(定員	820人)
・グループホーム	23か所	

○地域包括支援センター

・7か所(全て委託)

※ 日常生活圏域 20圏域

⁵ 柏市統計書平成25年度版(平成24年度末現在)

⁶ 柏市ホームページ

⁷ 柏市ホームページ(定員は、各施設のホームページ)



高齢者施策等の状況④

○高齢者の人口等

- ・65歳以上人口 90,089人（対人口全体 22.3%）
- ・75歳以上人口 37,126人（対人口全体 9.2%）
- ・平均寿命⁸ 男性79.40歳、女性83.67歳

○要介護者数等⁹

- ・要介護認定者数 9,303人
- ・要支援認定者数 2,795人
- ・居宅介護（介護予防）サービス給付件数¹⁰ 延べ262,728件

○死因別死亡者数¹¹

- ・悪性新生物（がん） 941人（人口10万人当たり 233.0人）
- ・心疾患 486人（人口10万人当たり 120.4人）
- ・肺炎 286人（人口10万人当たり 70.8人）
- ・脳血管疾患 281人（人口10万人当たり 69.6人）
- ・老衰 113人（人口10万人当たり 28.0人）

⁸ 柏市健康増進計画（平成23年度現在）

⁹ 柏市統計書平成25年度版（平成24年度末現在）

¹⁰ 厚生労働省介護保険事業状況報告（平成24年度）

¹¹ 柏市統計書平成25年度版（平成24年度末現在）



取組みの概要① —取組みのきっかけ—

○在宅医療の推進

- ・高水準の病床利用率 : 85.1%(2011(平成23)年、一般病院)
- ・病院の收容能力を超えてしまう前に、在宅医療で受け止める必要
- ・介護保険サービスと密接な関わり
→ 介護保険担当部局が担当

○推進体制の強化

- ・2008(平成22)年 健康福祉部内に福祉政策室を設置
- ・2012(平成24)年 福祉政策室に専門職・専門職管理職を配置
- ・2014(平成26)年 福祉政策室から福祉政策課に
★**柏地域医療連携センター(福祉政策課 在宅医療支援担当)開設**
 - ・職員数 10人
うち相談員 正規職員3人、非常勤職員3人(いずれも専門職)

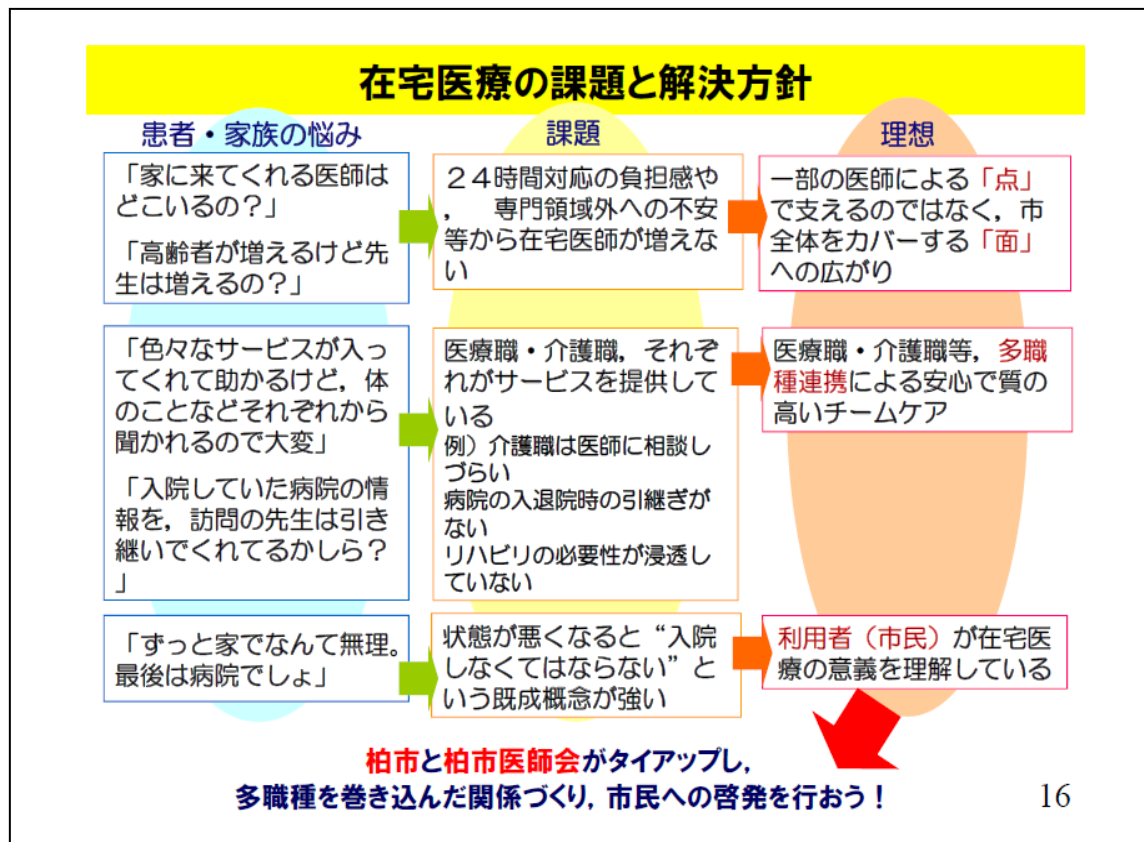
○介護保険事業計画との関係

- ・第5期介護保険事業計画に在宅医療の推進を位置づけ
→ 介護保険事業と在宅医療の一体的な整備・推進を目指す



取組みの概要① —取組みのきっかけ—

○市民・医療職・介護職・行政での議論により課題を抽出



→ 解決方針を、第5期介護保険事業計画に盛り込む

※ 図の出典：柏市福祉政策課資料



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要① —取組みの概要—

- 在宅医療に携わる医師の負担を軽減
 - ・かかりつけ医のグループ化(主治医・副主治医制)
 - ・病院との連携体制
- 在宅医療を行う医師の増加・他職種連携の推進
 - ・他職種連携研修
 - ・訪問看護の強化・充実
 - ・医療・介護の連携強化
- 情報共有システムの構築
- 市民啓発・相談の強化
- 中核拠点施設の設置
 - ・柏地域医療連携センター

東京大学の
プロジェクト
と連携

取組みを継続
させる必要

5つの柱が国の宅医療連携拠点事業のメニューとほぼ合致



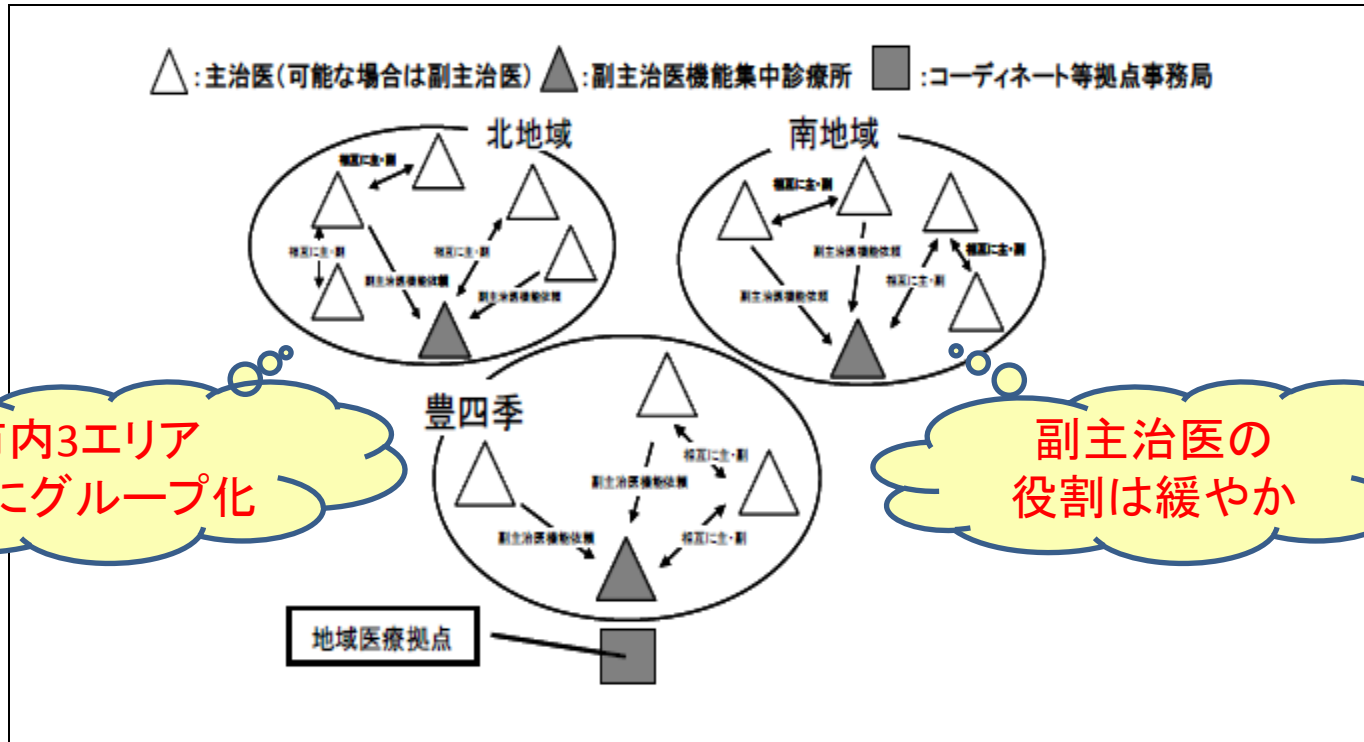
公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要② —医師の負担軽減—

(1) かかりつけ医のグループ形成によるバックアップシステムの構築

○主治医・副主治医制(グループ化)



→ 理想が現実になりつつある

※ 図の出典: 柏市福祉政策課資料(吹き出しは、報告者)



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要② — 医師の負担軽減 —

(2) 急性憎悪時における病院のバックアップ体制の確保

○在宅医療と病院との協力関係強化

★2013(平成25)年 10病院院長会議の場において、病院側と在宅医療側とで取り決め

【病院側】

- ・在宅医療への移行時には、在宅側の要望を踏まえた様式を使用
- ・在宅患者の急性憎悪時等には、原則として退院元の病院が受入

お互いの不満や要望を出し合った上で、解決策を口頭で確認

【在宅医療側】

- ・急性憎悪時には原則として在宅側スタッフが訪問して対応
- ・入院時には在宅主治医等から病院の救急担当に対して必要な診療情報や患者・家族の意向を情報提供



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要② —在宅医増・他職種連携—

(1) 在宅医療他職種連携研修会

- 対象 : 医師および在宅医療関係職種
- 目的 : 在宅医療の推進および他職種連携の促進
- 期間 : 2日間(年間1回、1日目と2日目の間に数週間)
- 主催 : 柏市医師会・柏市
- 受講者数 : 第5回(2013(平成25)年度) 63人

★同行訪問 : 医師参加者の在宅医療同行訪問による体験

主な内容	
在宅医療の果たすべき役割(総論)	在宅医療の導入
在宅医療を支える医療・介護資源	認知症患者のBPSDへの対応と意思決定支援
医療介護資源マップ作成	報酬・制度
多職種WS①緩和ケア	在宅医療を推進する上での課題とその解決策
多職種WS②認知症	目標設定
	修了式



※ 図・写真の出典「地域包括ケアシステム事例集成」(厚生労働省HP)



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要② —在宅医増・他職種連携—

(2) 訪問看護の充実・強化

○看護師復職フェアの開催

- ・対象：看護師および准看護師
- ・目的：結婚・出産・育児などで休職していた看護師の復職支援
- ・主催：柏市（柏市訪問看護連絡会が協力）

★周知方法：広報誌の他に、幼稚園や小中学校にチラシ配布

○看護師復職フェアの開催（24.8.8:14名 24.12.5:15名 25.8.24:19名 25.12.14:13名参加）

⇒成果：訪看STへ7名、介護サービスへ5名、医療機関へ9名が就職



全体の様子



採血・留置針



訪問看護の紹介

※ 写真の出典：：柏市福祉政策課資料



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要② —在宅医増・他職種連携—

(2) 訪問看護の充実・強化

○訪問看護フォーラムの開催

○訪問看護フォーラムの開催 (24.9.8;90名 25.2.16;72名 25.10.26;45名参加)



講演会



会場の様子



訪問看護ステーションの紹介 26

○訪問看護ステーションの大規模化(12か所→18か所)

○病院看護師と訪問看護ステーションとの連携強化

★病院に訪問看護ステーションのスタッフが訪れ、グループワーク等

※ 写真の出典「柏市における長寿社会のまちづくり」(柏市HP)



取組みの概要② —在宅医増・他職種連携—

(3) 医療職と介護職の連携強化

○連携課題を議論し、顔の見える関係をつくる5つの会議

医療WG(H22.5~H24.3 20回)

医師会を中心に構成し、主治医・副主治医制度や病院との関係を議論
現在は、医師会「在宅プライマリケア委員会」で毎月議論

連携WG(H22.7~H26.3 28回)

医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院関係者、看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター等の代表者等で構成し、多職種連携のルールを議論し、決定

試行WG(H23.11~H26.1 10回)

多職種で構成し、多職種連携ルールについて、具体的症例に基づく試行と検証を実施 ※評価チームを設置

10病院会議(H24.2~ 10回(継続中))

救急告示医療機関とがんセンターの院長、MSWで構成し、在宅医療のバックアップや退院調整について議論

顔の見える関係会議(H24.6~8回(継続中)) ⇒ 延べ1,300名が参加
柏市の医療・介護関係者が一堂に会し、顔の見える関係を構築



※ 図・写真の出典「柏市における長寿社会のまちづくり」(柏市HP)



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要③ —情報共有システムの構築—

○稼働までの経緯

- ・2010(平成22)年度 開発着手(東京大学・介護系システム企業と協力)
- ・2011(平成23)年度 実際の患者をモデルに試行
(試行に基づくシステムの改修・改善)
- ・2013(平成25)年度 システム完成
- ・2014(平成26)年度 本格稼働(柏市が企業と一括利用契約)

○システムの特徴

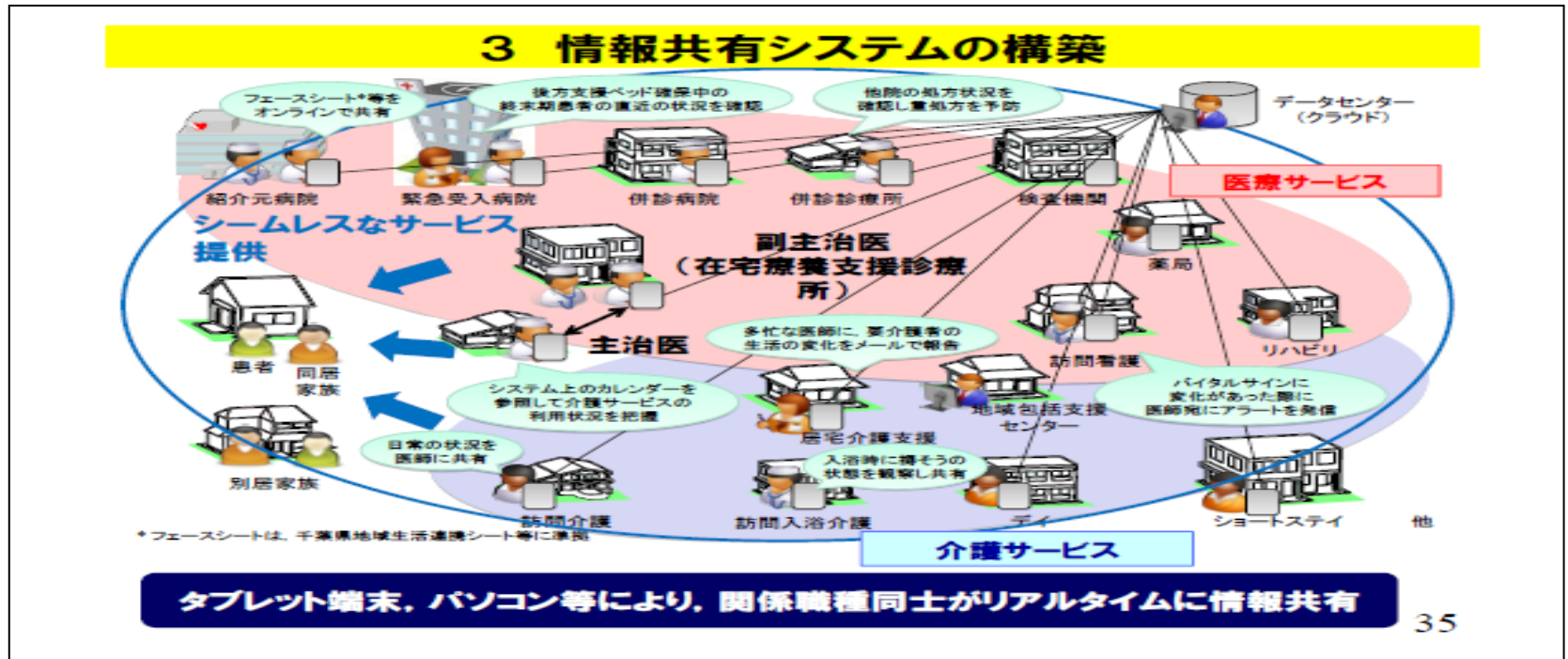
- ・利用希望の患者に関係者間での個人情報共有の同意を書面で得る
- ・取得した個人情報は柏市の保有情報となる
- ・関係者はID取得と同時に個人情報に関する誓約書提出
- ・接続は各事業所の端末(専用モバイル購入や回線契約等は不要)

○利用状況

- ・利用患者数 : 約90症例(試行時からの通算)
- ・ID所有関係者数 : 約180事業者(個人ベースでは500人超)
(市内の医療・介護等関係事業者数の20%弱)



取組みの概要③ —情報共有システムの構築—



○成果

- ・医療側：訪問医療の間の情報が介護側から豊富に提供されると好評
- ・介護側：医療側からの情報が勉強になる・着眼点が広がると好評

○課題

- ・電子カルテと非接続(同一情報を入力する手間)
- ・利用端末の特定

※ 図の出典：：柏市福祉政策課資料



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要④ –市民への啓発、相談・支援–

○行政の重要な役割

- ・以前から地域活動・地域団体等との良好な関係
- ・大学との連携を強化する際の事前説明の必要性

(1) 市民説明会・意見交換会

○2011(平成23)年度

- ・対象 民生委員、健康づくり推進員、ふるさと協議会等の役員
- ・回数 4回
- ・参加 約200人

○2012(平成24)年度

- ・対象 民生委員、ふるさと協議会等
- ・回数 63回(テーマは年間1~2、市内各地で開催)
- ・参加 約1,600人

○2013(平成25)年度

- ・対象 地区社会協議会単位での勉強会や民生委員等への説明
- ・回数 62回(テーマは年間1~2、市内各地で開催)
- ・参加 約2,350人



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要④ —市民への啓発、相談・支援—

(2) 在宅ケア市民集会

- ・2011(平成23)年2月～
- ・対象 広く市民
- ・回数 計4回
- ・参加 延べ570人

(1)(2)の取組みから、市民の期待や不安を把握し、顔の見える関係づくりも・・・

各説明を聞いた市民の主な意見(抜粋)

期待	<ul style="list-style-type: none">・家で最期を迎えたいと思っている人は多いので、実現することを強く望みます。・かかりつけ医が最期まで診てくれるのは大変嬉しい
不安	<ul style="list-style-type: none">・低所得者でも利用できるのか。・家族の負担を十分に軽減できる仕組みになるのか。

わかりやすく入手しやすい形での広報・周知へ

※ 表の出典：：柏市福祉政策課資料



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要④ – 市民への啓発、相談・支援 –

(3) 情報誌「わがや」の発行、広報での啓発

○情報誌「わがや」

・2013(平成25)年3月 準備号

8月～ 8月、11月、3月の定期発行

・配布方法 新聞折り込み扱いで全戸配布(約13万6,500部)

○広報「かしわ」

・2014(平成26)年3月号 1・2面で在宅医療特集

様々な市民啓発の取り組み

かしわ

家族に寄り添う
在宅医療

地域での勉強会
(医師・看護師の講演)

安心して暮らすための
柏のまちづくり

在宅医療情報誌
「わがや」
(個別配布)

広報かしわ
(3月1日号1面・2面)

様々な場面で市民の皆様にご案内いただき取り組み

39

※ 写真等の出典：：柏市福祉政策課資料



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要⑤ —中核拠点の整備—

☆地域包括ケアシステム具現化のための地域医療の拠点
「柏地域医療センター」2014(平成26)年4月1日開設

○ 柏地域医療センターの概要

- ・土地 柏市がURから借り上げ
- ・建物 医師会・歯科医師会・薬剤師会が費用負担
開設後は市の所有
- ・1階 総合窓口、研修室、談話スペース等
- ・2階 医師会・歯科医師会・薬剤師会の事務局、小会議室等

○ 柏地域医療センターの機能

- ・医療や介護に関する相談・啓発
- ・在宅医療が必要な人への調整・支援
- ・医療・介護の連携強化



※ 写真は報告者撮影



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要⑤ — 中核拠点の整備 —

☆ 啓発活動の一環として、市民公開講座を実施

- ・ 柏市と医師会が企画
- ・ 例月開催
- ・ 市民により構成される実行委員会で内容の企画・立案
- ・ 毎回200人程度の参加

館内案内

1階配置図

2階

【柏地域医療連携センター 総合窓口】
 柏市役所 保健福祉部 福祉政策課
 在宅医療支援担当
 電話 04-7197-1510
 FAX 04-7197-1511

【研修室】

【図書・情報コーナー】

【事務局】
 柏市医師会 04-7128-5551
 柏市歯科医師会 04-7147-6500
 柏市薬剤師会 04-7142-7376

【会議室1・2】

柏地域医療連携センターの主な役割

機能① 医療や介護に関する相談・啓発

- 在宅医療や介護に関する相談を受けます。
- がんの患者様やご家族のかたからのお困りごと等の相談を受けたり、情報提供を行います。
- 地域医療や介護に関する市民向けの勉強会等を開催します。

機能② 在宅医療が必要な方への調整支援

- 在宅主治医がない場合の主治医・副主治医をご紹介します。
- 必要に応じ、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、リハビリ職、管理栄養士等の多職種をご紹介します。

機能③ 医療・介護の連携強化

- 地域医療・介護に関する多職種の連携を強化するための取り組みを行います。

機能③のイメージ

※ 図等の出典：：柏市福祉政策課資料

取組みの概要⑥ —地域包括支援センター—

○市内に地域包括支援センターを7か所配置

- ・2006(平成18)年 地域包括支援センター開設(1か所、直営)
☆法人からの職員派遣等により人材育成を行いつつ、徐々に委託方式に
☆7地域包括支援センターの委託化が完了した時点で直営のセンター廃止

設置状況

No.	名称	運営主体	開設年度	担当圏域数
1	北柏地域包括支援センター	公益財団法人柏市医療公社	2008(H20)	3
2	沼南地域包括支援センター	社会福祉法人	2008(H20)	3
3	柏西口地域包括支援センター	社会福祉法人	2009(H21)	3
4	柏東口地域包括支援センター	社会福祉法人	2009(H21)	4
5	柏北部地域包括支援センター	社会福祉法人	2010(H22)	2
6	柏南部地域包括支援センター	社会福祉法人	2010(H22)	3
7	光ヶ丘地域包括支援センター	医療法人社団	2010(H22)	2

※ 表は報告者作成



公益財団法人

日本都市センター

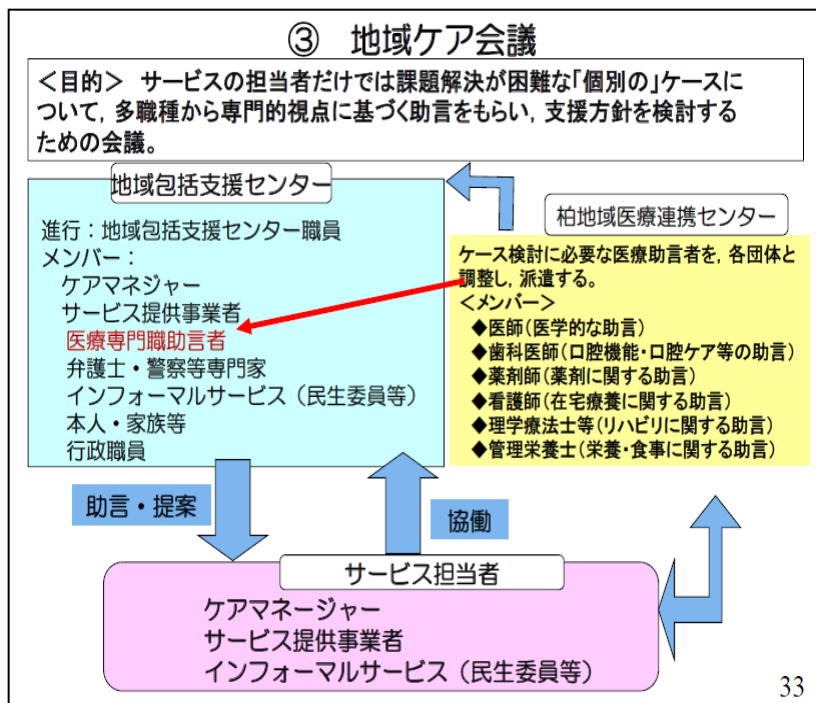
取組みの概要⑥ —地域ケア会議—

○各地域包括支援センターが主体となって実施

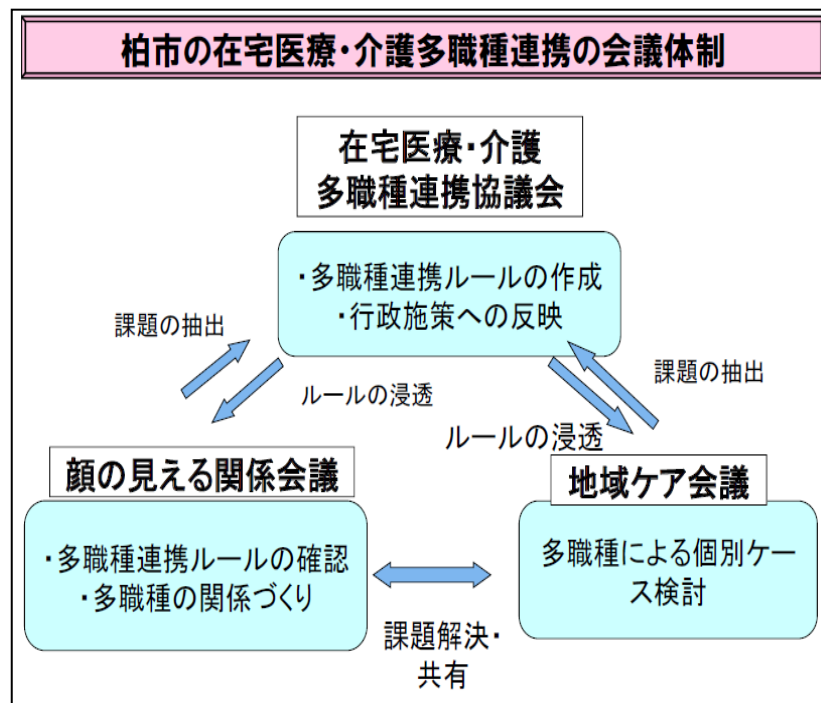
・2012(平成24)年度～ 実施

☆当初は、市がモデル的に開催

☆柏地域医療連携センターも専門職は検討の支援・調整



33



※ 図の典拠「柏市における長寿社会のまちづくり」（柏市HP）

取組みの特徴① —豊四季台団地—

☆行政(柏市)・大学(東京大学)・企業(UR)が連携

- ・1964(昭和39)年度～ URによる大規模開発(約32.6ha、建替前4,666戸(103棟))
- ・人口減少・高齢化 約10,000人→約6,000人(自立度低い人は、転居・転出)
- ・2000(平成12)年 東京大学柏キャンパス開設(高齢社会総合研究機構)
- ・2003(平成15)年度～ URによる建替(バリアフリー化、街区別工期)

東京大学や柏市からURに連携の働きかけ

柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会を発足

「高齢社会の安心で豊かな暮らし方・まちのあり方」を
柏市、東京大学、UR都市機構の三者で議論し、実践していこう！



柏市	
超高齢化に対応したまちづくりの具体化	
東京大学高齢社会総合研究機構	
システム・技術の研究・開発と世界への発信	
都市再生機構	
UR都市機構	
今後の団地のあり方の検証	

- ・2009(平成21)年6月 柏市、東京大学、UR都市機構の三者での研究会発足以降研究会を重ね、市民向けシンポジウムを3回開催(7月、9月、2月)
- ・2010(平成22)年5月 三者協定を結ぶ
- ・2010(平成22)年11月 まちづくり会議を開催して地域に説明
- ・2011(平成23)年2月以降 町会・自治会を4ブロックに分けて説明

研究会の下に、テーマ別の部会を設置

- ・住まい、移動、交流、医療 等
- ・行政は、在宅医療・生きがい就労を中心に関与

柏市役所内で、関係課の課長による研究会を設置

- ・年1回開催
- ・庁内での意思統一・方針確認等の役割

※ 写真等の出典：：柏市福祉政策課資料



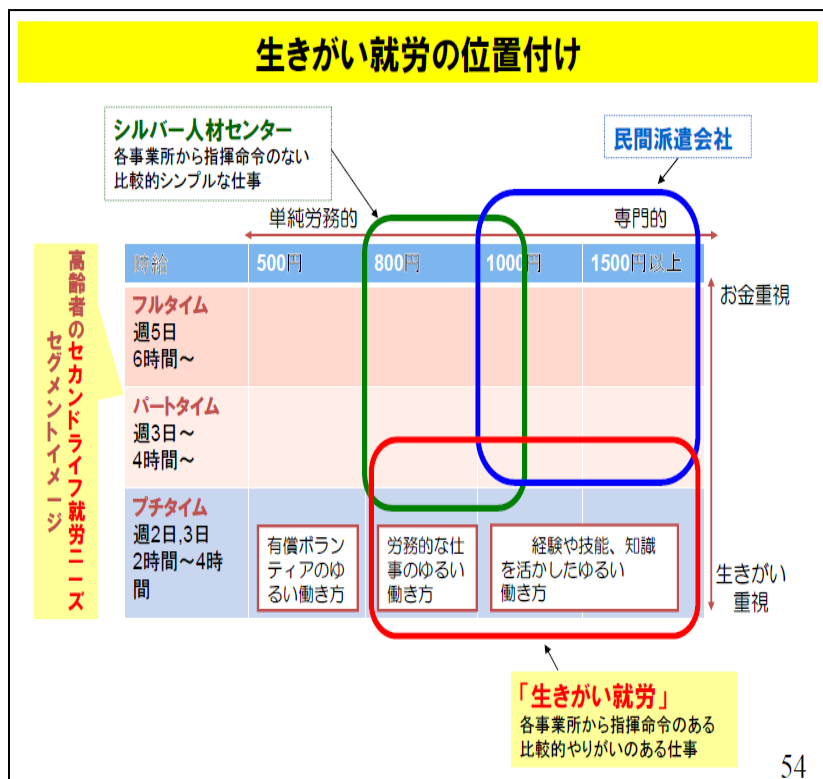
公益財団法人

日本都市センター

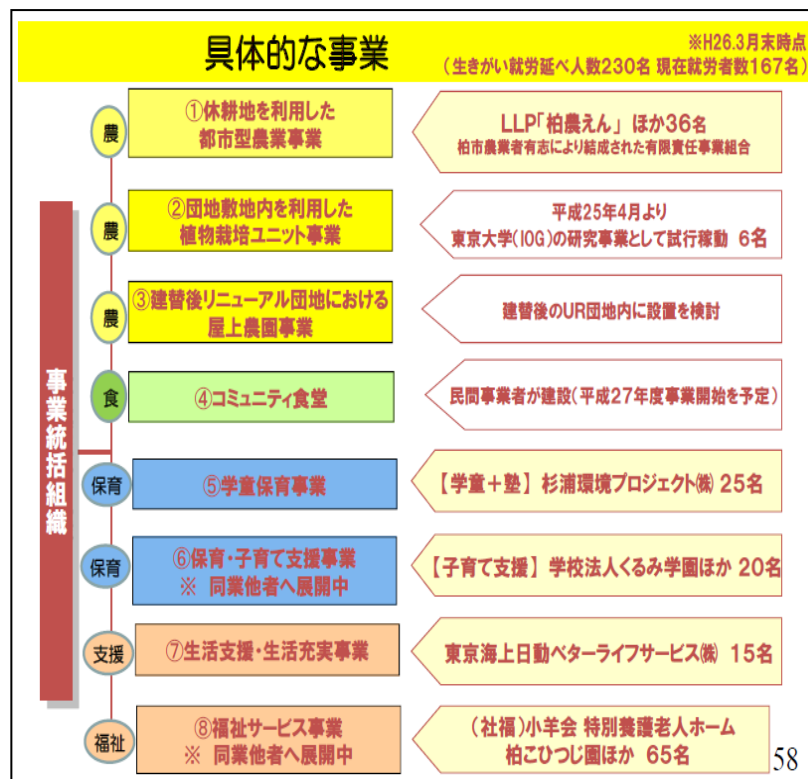
取組みの特徴② —生きがい就労の創成—

☆企業を退職した団塊の世代(主に男性)をターゲット

- ・スムーズに地域参加できない層
- ・高齢者の就労ニーズを分析し、「プチタイム」で生きがいを重視する働き方を想定
- ・県の最低賃金は上回る時給



54



58

※ 図の出典: : 柏市福祉政策課資料

取組みの評価

○在宅医療研修 修了者数
・247人(うち、医師44人)

○在宅療養支援診療所数
・2010(平成22)年11月 15か所 → 2014(平成26)年3月 27か所

○訪問看護ステーション数
・2013(平成25)年 2月 15か所 → 2014(平成26)年4月 18か所

○柏市の在宅診療所による年間自宅看取り数
・2010(平成22)年度 53件 → 2012(平成24)年度 110件

○年間3人以上自宅で看取った在宅診療所数
・2010(平成22)年度 5か所 → 2012(平成24)年度 12か所

○他職種連携ICTシステムID発行数
・2014(平成26)年3月末 143事業所、356人(他職種)

在宅医療の
介入実績を
評価指標に
加えることも
検討中

最新値では、約180事業所、500名超



公益財団法人

日本都市センター

取組みの成果と課題

○成果

- ・行政と医師会が連携し関係機関等に呼びかけを行うことで、全ての多職種団体が参画する地域医療連携の枠組みを構築
- ・多職種が参画して、関係づくりや連携のためのルールづくりを行うことで、全市的に在宅医療の流れを加速
- ・草の根レベルでの啓発活動により、市民の抱く期待や不安を把握 等

○課題

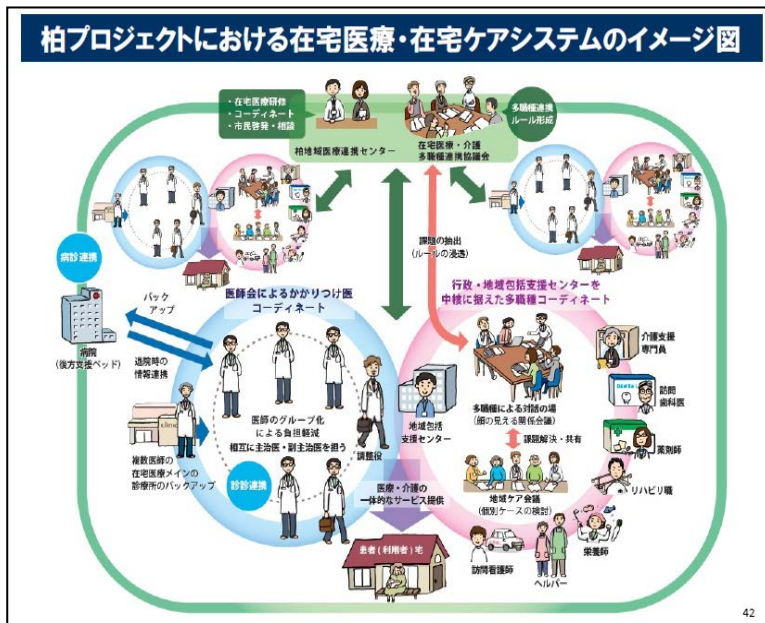
- ・在宅医療をしても、自宅で最後まで看取することは困難なことが多い
 - ※ 死亡場所が病院でも、在宅医療の介入実績があるケースの増加
 - 在宅医療の介入実績の指標化
- ・市民の在宅医療に関する知識や理解のさらなる浸透
- ・東京大学のプロジェクトが終了した後の、取組みの継続



取組みの展望

○展望

- ・「主治医・副主治医制」の全市的展開
- ・多職種連携ルールの確立
- ・柏地域医療連携センターを軸とした各種事業の実施
- ・医師会によるリーダーシップ
- ・行政による多職種間の調整



※ 図の典拠：：柏市福祉政策課資料

参考資料

○柏市『第5期柏市高齢者いきいきプラン21』

http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/060300/p008008_d/fil/5plan21.pdf

○柏市『柏市における長寿社会のまちづくり』

http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/060200/p011002_d/fil/project_file.pdf

○柏市在宅医療情報誌「わがや」

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/060200/p015916.html>

○厚生労働省HP「地域包括ケアシステム事例集成」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/dl/jirei.pdf



公益財団法人

日本都市センター